

河野太郎防災担当大臣からのメッセージ

第3回ジュニア防災検定表彰式の開催を心からお慶びを申し上げます。また、表彰式に出席されている小学生、中学生の皆さん、入賞おめでとうございます。

東日本大震災から今年で丸5年が経つなか、一部には震災の「風化」が懸念されています。しかし、被災地ははまだ復興の途上にあり、震災の爪痕がいたるところに残っています。

私たちは東日本大震災から多くの教訓を学びました。東日本大震災では、日頃の訓練により、子供たちが自発的に避難できた事例もあり、防災教育の必要性が増しています。

ジュニア防災検定は東日本大震災の教訓から誕生した防災教育プログラムの一環であり、日本全国にジュニア防災検定の取り組みが着実に拡大していると聞いております。

ジュニア防災検定は、従来の暗記・記憶力を問うだけの筆記試験ではなく、子供たちが生きる力を身に付ける検定であり、内閣府が推進する防災教育の普及・啓発の取り組みとも合致するものであります。

ジュニア防災検定に合格した皆さんは、合格が始まりという気持ちで、防災意識をしっかりと持っていただき、是非とも日本の将来を担う人材として、これからも学校生活や勉学にも一生懸命に頑張ってください。期待しています。

最後になりますが、本日の表彰式にご出席の皆様方の今後ますますのご健康とご多幸をご祈念申し上げて、メッセージとさせていただきます。

平成28年3月27日
防災担当大臣 河野 太郎

石井啓一国土交通大臣からのメッセージ

第3回ジュニア防災検定表彰式の開催を心からお慶び申し上げます。また、本日、表彰式に出席されている小中学生の皆さん、受賞おめでとうございます。

本年3月で東日本大震災の発生から5年になりましたが、昨年も関東・東北豪雨など全国的に被害の大きい自然災害が発生しました。いつ来るかわからない災害に備えて平時から準備しておくことは非常に重要です。

ジュニア防災検定は、子どもたちが日常から防災意識をもって生活できることを目指し、平成25年5月に平野啓子理事長を中心に立ち上げられたと聞いております。

これは、国土交通省が推進する防災教育、防災意識社会への転換といった取組とも合致するものです。本日出席されている小中学生の皆さんには、南海トラフ巨大地震・首都直下地震などの大規模災害に備え、被害を最小限に抑えるために、平時から培った防災力を大いに発揮されることを期待しています。

最後になりますが、本日の表彰式にご出席の皆様方のますますのご多幸を心より祈念申し上げて、メッセージとさせていただきます。

平成28年3月27日
国土交通大臣 石井 啓一